

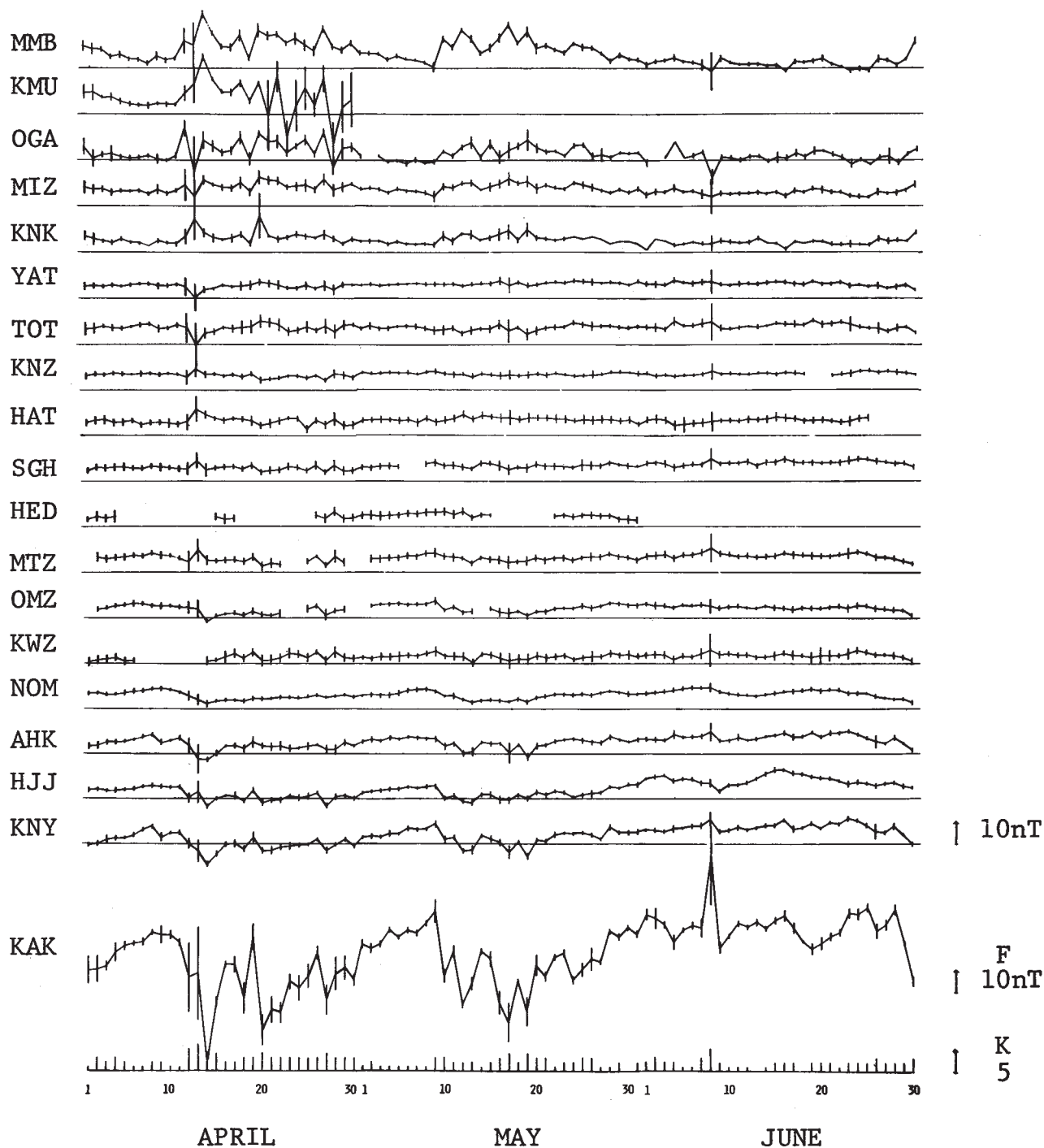
7 - 2 地震予知研究計画にもとづく地磁気永年変化精密観測 1981年4月～9月

Precise Observation of Geomagnetic Secular Variation under the Project of Earthquake Prediction Research, April - September, 1981

地震予知研究計画・地磁気研究グループ
Geomagnetic Research Group on Earthquake Prediction

1981年4月～9月の観測結果について報告する。男鹿，金華山については00時40分～01時20分の5個，他の測点については03時00分までの15個の毎10分全磁力値について，柿岡に対する差が，柿岡の全磁力値，K指数とともに，第1図，第2図に示される。上杵臼（5月～9月），戸田（6月～9月），男鹿，金華山，鹿野山（9月）の結果は未整理のため示されていない。河津（8月）は欠測である。上杵臼の4月分は測器の不調と考えられる。八ヶ岳は7月後半から徐々に下がっており，月平均値で6月と9月の差は3.7nTに達する。7月中旬に落雷があり，その影響とも考えられるが，今のところはっきりしたことはわからない。今後監視してゆく必要がある。なお，柿岡の7月26日の全磁力値は大きく減少しておりプロットされていないが，それは45829nTで，通常のレベルより120nT減少している。

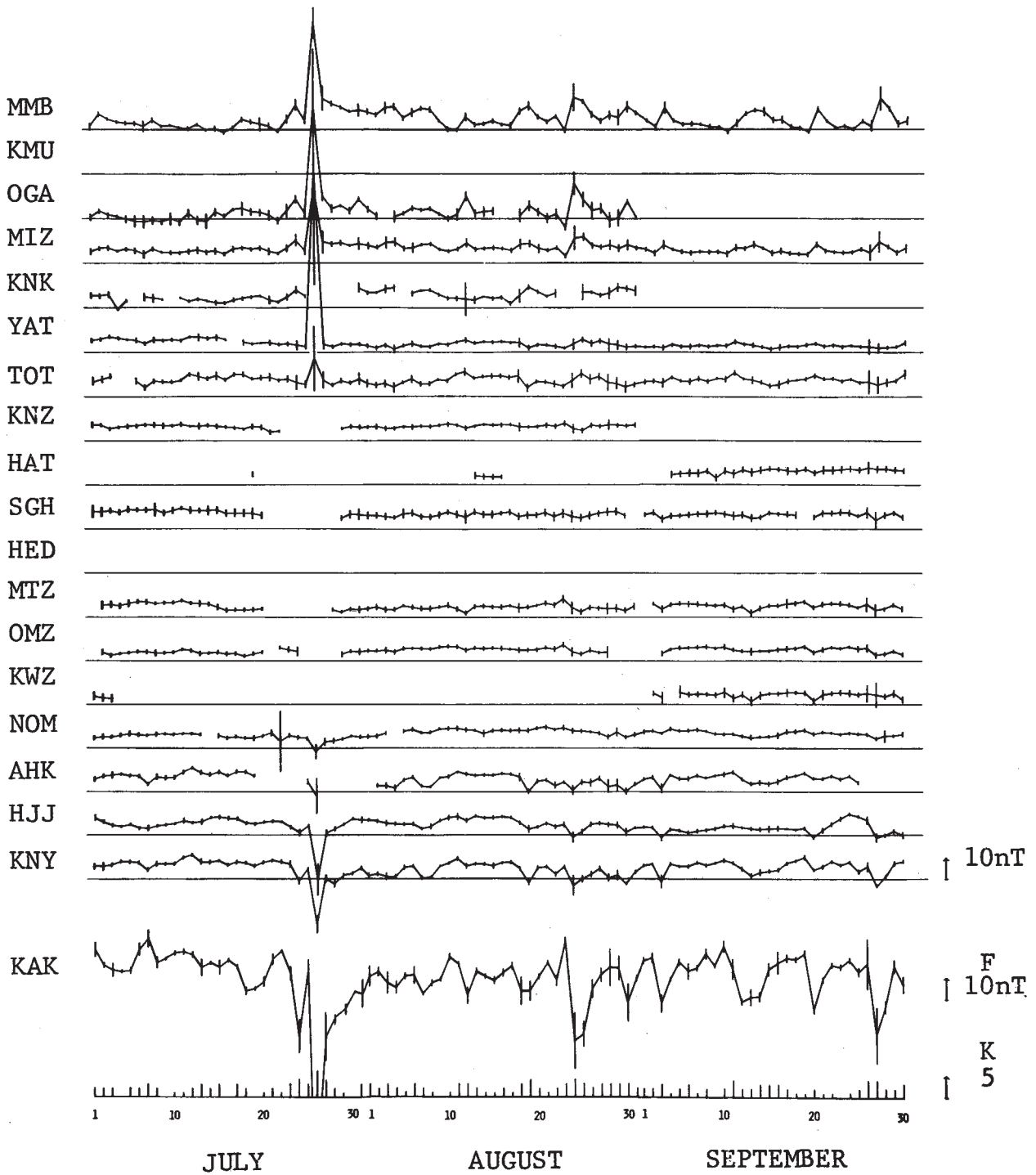
DIFFERENCES IN TOTAL FORCE WITH REFERENCE TO KAKIOKA



第1図 柿岡に対する各観測点の全磁力夜間値差の変化, 1981年4月~6月

Fig. 1 Day-to-day change of the difference of nighttime total-force intensity at each station from that at Kakioka, for the period from April to June, 1981.

DIFFERENCES IN TOTAL FORCE WITH REFERENCE TO KAKIOKA



第2図 柿岡に対する各観測点の全磁力夜間値差の変化, 1981年7月~9月

Fig. 2 Day-to-day change of the difference of nighttime total-force intensity at each station from that at Kakioka, for the period from July to September, 1981.